

令和2年3月9日

各報道機関 御中

国立大学法人山梨大学

## 防災シンポジウム～水害に強い50年後の甲府盆地～開催のご案内について

この度、本学地域防災・マネジメント研究センターでは、下記の通り「防災シンポジウム～水害に強い50年後の甲府盆地～」を開催します。

当日は、水害から「守る」、「逃げる」に加え、水害を「かわす」ことのできるまちづくりについて、防災の専門家が検討した研究成果公表やパネルディスカッション等を行います。

つきましては、当日の取材方よろしくお願い申し上げます。

※新型コロナウイルス感染症への対策として、一般の方の観覧を中止する場合がありますのでご了承ください。その場合は、関係者のみでシンポジウムを実施し、後日その様子を動画配信いたします。なお、取材の場合は観覧を中止した場合でもご来場いただけます。

### 記

【日 程】2020年3月18日（水）13:30～16:20

【会 場】山梨県立図書館多目的ホール（甲府市北口2-8-1）

【内 容】13:30～13:35 主催者開会挨拶

13:35～14:30 水害に強い甲府盆地 研究成果公表

14:40～15:50 パネルディスカッション

15:50～16:10 質疑応答

16:10～16:15 閉会の言葉

【参加費】無料

【申 込】不要

※当日は、マスク着用にてご参加願います。

※詳細は別途ご案内チラシをご参照下さい。

※不明点等ございましたら、下記問い合わせ先までご連絡ください。

（お問い合わせ先）  
山梨大学地域防災・マネジメント研究センター  
鈴木猛康  
TEL：055-220-8531  
（広報担当）  
山梨大学総務部総務課広報企画室  
TEL：055-220-8006 FAX：055-220-8799  
E-mail：koho@yamanashi.ac.jp

# 地域防災・マネジメント研究センター主催 防災シンポジウム ～水害に強い50年後の甲府盆地～

2018年西日本豪雨による岡山県真備町の水害は、甲府盆地の水害の縮図であり、浸水区域からの広域避難のための計画の早期策定が、山梨県にとっての喫緊の課題であることを提示しました。一方、2019年台風19号による被害の様相は、つぎの水害対策は、河川が氾濫してもまちの機能と県民の資産の被害を最小限に抑え、水害をかわして早期に立ち直ることのできるレジリエントなまちの構築であることを教えてくれました。

日時：2020年3月18日 13:30～16:20

場所：山梨県立図書館多目的ホール

13:30～13:35 主催者開会挨拶

13:35～14:30 水害に強い甲府盆地 研究成果公表

14:40～15:50 パネルディスカッション

15:50～16:10 質疑応答

16:10～16:15 閉会の言葉

水害から「守る」、「逃げる」に加え、水害を「かわす」ことのできるまちづくりについて、防災の専門家が検討しました。その結果に基づいて、水害に強い持続的な発展の期待できる50年後の甲府盆地を描いてみました。本シンポジウムをみんなで考える機会にしたいと思いますので、多数の参加をお願いします。

**参加費無料 申込不要**

※当日は、マスク着用にてご参加願います。

研究会構成メンバー：山梨大学地域防災・マネジメント研究センター、花岡利幸・山梨大学名誉教授、土木研究所自然共生研究センター、国土交通省甲府河川国道事務所、山梨県建設業協会、山梨県造園建設業協会、サンポー、黒沢建設、オリエンタルコンサルタンツ、建設技術研究所、パシフィックコンサルタンツ、オブザーバー：山梨県、県内市町村